



東京都生物多様性地域戦略の 意見募集とゼロドラフトについて



東京都の生物多様性地域戦略改定の概要

2019年12月

- ・ **東京都自然環境保全審議会**に「生物多様性地域戦略の改定」を諮問
- ・ 同審議会に民間の専門家を加えた「**生物多様性地域戦略改定検討会**」を設置

2021年8月5日

- ・ 「東京の将来像」に関する**意見募集**を開始
- ・ 意見募集の素材として「**ゼロドラフト**」の公表

※今後、都民等からお寄せいただいた御意見を踏まえて、東京都自然環境保全審議会で議論を重ね、生物多様性地域戦略を改定していく予定

地域戦略の意見募集について

■ 対象

- ①都民（都内在住・在勤・在学の方）、②事業者、③民間団体（NPO・NGO・市民団体等）、④教育・研究機関

- 募集期間 令和3年8月5日（木）から10月10日（日）まで

■ 意見募集の素材

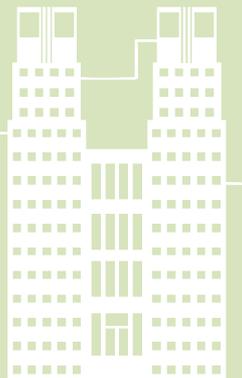
「東京都生物多様性地域戦略改定 ゼロドラフト」

■ 募集する意見

東京の生物多様性に関して、次の2つのテーマで御意見を募集

(1) 各主体が描く2050年東京の将来像

(2) 2050年東京の将来像の実現に向けて各主体が進める取組



東京都生物多様性地域戦略改定 ゼロドラフト

令和 3 (2021) 年 8 月



ゼロドラフト構成

第1章 生物多様性とは

今回、意見募集

第2章 東京における生物多様性の現状と課題

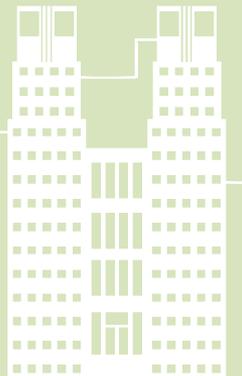
※東京の自然の特徴について掲載

第3章 東京の**将来像**（案）

※基本理念や2050年将来像について掲載

第4章 将来像の実現に向けた**基本戦略**（案）

※今後の取組の方向性について掲載



2 2050年東京の将来像の考え方

地域戦略における将来像の年次は、ポスト2020生物多様性枠組みを受け続けることができるとした基本理念(案)を踏まえ、生態

生態系サービスごとに整理

豊かな自然があふれ 生きものと共生する都市 基盤サービス



都心では生態系に配慮した緑地があふれ、郊外では自然が維持・回復することで、生きものが戻るとともに、自然と共生する生活空間や職場環境が実現し、自然を基軸とする環境先進都市となっています。

癒しや潤いをもたらす貴重な屋外空間などの資源として、身近な緑を含む東京の自然が持続的に利用されるとともに、自然に根差した歴史・文化が継承され、生活を豊かにするものとして、東京の自然の価値が見直されています。



文化的サービス 自然の恵みにより 生活を豊かにする都市

都内外の自然資源を 持続的に利用する都市 供給サービス



東京産の生産物が地産地消による東京ブランドとして持続的に消費され、東京の自然が持続的に利用されるとともに、都外からの食料や商品・材料の購入にあたっては、持続可能で環境負荷の低い経済活動が成立しています。



緑地によるヒートアイランド現象の緩和や雨水浸透・雨水貯留などによる洪水被害の軽減など、健全な自然に備わる機能が十分に発揮されたレジリエントな都市づくりが進んでいます。

調整サービス 自然の機能が発揮された レジリエントな都市

1 基本戦略の考え方

第3章で示した将来像を実現するために、今後、都民・事業者・民間団体・行政など様々な主体が連携・協働して取り組むための基本戦略(案)について、以下

1 保全と回復

基本戦略

1

生物多様性の保全と回復を進め、東京の豊かな自然を後世につなぐ

東京の自然の基礎的な情報をもとに、現在残っている良好な生物多様性の保全を進めるとともに、既に消失した生物多様性の回復を図ることで、東京の豊かな自然を後世につないでいきます。

2 持続的な利用

基本戦略

2

生物多様性の恵みを持続的に利用し、自然の機能を都民生活の向上にいかす

都内外の生物多様性の恵みを持続的に利用し、癒しや潤い、地域コミュニティの活性化、防災や減災、防災教育などに活用していきます。

3 理解と行動変容

基本戦略

3

生物多様性の価値を認識し、都内だけでなく地球規模の課題にも対応した行動にかえる

生物多様性の価値を認識し、生物多様性を自分事として捉えることにより、都内の課題だけでなく、日本全体さらには地球規模の課題にも対応した行動にかえていきます。



東京都
生物多様性
地域戦略

「東京の将来像」に関する
意見募集を実施します！



応募はこちらから

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/basic/plan/nature/opinion.html>

御清聴ありがとうございました。

